

会社名 日本山村硝子株式会社  
 代表者名 代表取締役社長執行役員 山村 幸治  
 (コード番号 5210 東証スタンダード市場)  
 問合せ先 ガラスびんカンパニー 営業本部  
 マーケティング部 高橋 啓市  
 (TEL 03-3349-7230)

## 国際ガラス年2022 記念シンポジウム ガラス産業界特設ブースに出展しました

9月30日(金)に行われた「国際ガラス年2022 記念シンポジウム」にてガラス関連企業の特設ブースが設置され、当社が出展いたしました。

本シンポジウムは、2022年が国際ガラス年であることを記念して、日本学術会議と日本ガラス年実行委員会の主催により開催されたイベントです。当日は日本学術会議講堂において、産学のガラスの有識者により、私たちの生活を支えるガラスやガラスの最先端技術に関する講演が行われました。同時にエントランスホールでは、ガラス関連企業(日本山村硝子、板硝子協会、住田光学ガラス、住友電工日本板硝子、日本電気硝子)による展示が行われ、当社はガラスびんの製造工程や3Rに適合する環境性、デザイン豊かな加飾製品を紹介しました。



当社のブースでは、ガラスびんの材料となるけい砂などの天然原料やカレット(再生原料)、3Rに適合する超軽量びん・リターナブルびん・エコロジーボトル、印刷や塗装を施したさまざまなテクスチャの加飾製品などを展示しました。ブースには、ガラスの研究者や学生、ガラス企業の関係者などが訪れ、特にガラスびんの高いリサイクル性や加飾による美しいデザインのガラスびんに興味を示していました。他のガラス産業でもガラスのリサイクルは行われておりますが、ガラスびんの再生原料使用率が約8割(1本のガラスびんを作るのに再生原料を約8割使用)と群を抜いて高いことを知ると、とても驚き感心されていました。

当社では今後も、このようなイベントへの活動を通じて産学連携を図り、ガラスびんの認知拡大やガラス業界のさらなる発展の一助となるよう努めて参ります。

以上